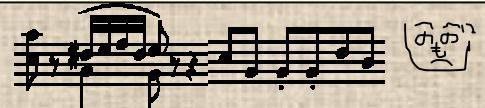


第九たいむず



No.45 2009. 4.16

通刊836担当 M

● 4月22日は「地球の日」「アースデイ」です。

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052 (事務局次長小野里)

皆さん、こんばんは。今年は桜の時期に雨が少なくいつもより、桜をたくさん見られたような気がします♪
観音山を眺めると新緑と桜のピンクがとてもきれいです。

♪ 4月19日(日) 海外公演練習日

スロヴェニア公演参加される方へ 4月19日旅行説明会があります。

- ・高崎中央公民館での練習は集会ホールで行います。第二駐車場(無料)をご利用ください。
- ・ICEC(旅行会社用)黄色い申込書を未提出の方は、4月19日(日)に必ずご提出ください。
- ・運営委員の方は19日練習終了後すぐに会議を始めます。

♪ メイコンサートまでの今後の練習について

練習時間を9時15分まで延長いたします。残れる方のみで大丈夫です。

昨年のメイコンサートの際、「オペラの振付け指導をしてもらいたい」との声が多く、今回、プロの振付師にご指導いただくことになりました。おおまかな動作を予め行い、指導者の方に、その後の動きを指導していただきます。第1回の振り付け指導が4月30日になります。

♪ 5月24日(日)メイコンサート(音楽センター)について

とてもきれいなメイコンサートのチラシ・チケットが出来上がりました。(田村先生デザイン)

- * チケットについて 1人あたり 15枚お配りし、9000円を集金させていただきます。
- ・高校生以下は配布致しません。(高校生以下の方でチケットが欲しい方は1枚500円より)
- ・チケット額面は1枚1000円です。追加のチケットは一枚500円でお渡しします。

チケット売れていますか? 年に2度も売りづらい!と思わずに、今年は大山亜紀子さんのステージがあるので、本来は1000円では聞けませんと言って買ってもらいましょう!と、他人に頼るのも何ですが...、あまり上演されないロシアのオペラを紹介できるチャンスですし、頑張って売りましょう! この秋に控えている海外公演のプレコンサートでもあります。大いに盛り上げましょう。

* 衣装について

☆ 1ステージの衣装について

女声について 先週の多数決の結果、「白ブラウス+黒のロングスカート」に決まりました。
第九演奏会と同じですが、アクセサリは自由にお付けください。

男声について 未定

☆ 3ステージについては ロシアの民族衣装の雰囲気のを自前でご用意いただく予定です。
演奏会前に衣装合わせがあると思いますが、不安な方は練習の際にお持ちいただき、事前に確認しましょう。

- * チラシについて 公民館やお店等においていただくよう団員全員のご協力をお願いいたします。
今年は高崎市文化会館が改修工事中のため、メイコンサートを音楽センターで行うこととなりました。たくさんの方に聞きに来ていただけるように宣伝してください!

♪ 総会とミニコンサートのご案内

日時: 2009年5月21日(木) 18時45分~総会 終了後、ミニコンサート 高崎カトリック教会にて
メイコンサート前の最後の合わせになりますので、出演される方は休まないようにしましょう。

※ NPO法人としての総会ですので、定数及び議決権の確認を行います。出席できない(可能性を含む)場合、あらかじめ委任状の提出をお願いします。

(提出方法: 団員・役員へ手渡し、練習会場持参、FAX、郵送のいずれか)

♪イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式

【テノール 林 英敏】

12日(日)、贈呈式に出席してまいりました。挨拶されたイオン高崎店の店長さんによりますと、毎月11日「幸せの黄色いレシート投函率」は35%だったそうです。まだ6割強の消費者の方々が投函する余地があるということです。登録団体の中には、当日投函ポストのそばに立ち、選挙しながら、「どうぞ私たちのポストへ」と勧誘しているところもあると聞いていましたが、実際に恥ずかしさなんて忘れて行くと、買い物客の方々は素直に入れてくれたそうです。

今回は初めての取り組みで、練習日の連絡事項時に、仕組みを訴えることがせいぜいでした。次回は、もっと団員の皆様のご理解を得て、拡大したいなと思っていますのでよろしくお願い致します！団員の皆様、ご家族の皆様、ご支援して下さった多くの方々へ感謝を申し上げます。今年も、9月から2月を攻める予定です。

♪ベートーヴェンの生涯 ④ (第九HPより)

1827年3月26日はベートーヴェンの命日です。第九ホームページより、ベートーヴェンの生涯を抜粋して掲載いたします。

全ドイツが熱狂し、ベートーヴェンも詩の全篇に音楽をつけようと言ったのは、シラーがフランス大革命に先立って、その革命の原動力とも言うべき「歓喜」を民衆のものとするために歌ったからであり、「百万の人々よ、我が抱擁を受けよ！この接吻を、全世界にー！」と歌い「暴君の鎖を解き放ち、…絞首台より生還！」といい、そして、「乞食は王侯の兄弟となる」と革命を歌いあげたからであった。それはドイツ啓蒙思想が生んだ最も輝かしい所産であった。

だがシラーはドイツ啓蒙思想の持つ弱点もそのまま持っていた。彼の思想にはフランス啓蒙思想が持っていた民衆自らの力で自由を切り開いていこうという面と、専制啓蒙君主制に頼り、その枠内で不合理な面だけを教育的になし崩しに改めていこうという面とが共存していた。シラーはドイツの後進性、狭苦しさ、みじめさを自覚し、それから逃れようとはするものの、革命によってではなく、観念的な理想国家に向かい、理想の中に逃避する。

1789年フランス大革命が始まると、軌を一にするかのようにドイツ啓蒙主義は指導者を失う。ドイツは民族的な狭さに逆もどりする。シラーの詩が高唱した「この接吻を全世界に」ではなくなる。シラーもこの逆流に歩調を合わせて変節する。シラーは、この詩を書いた1775年のときは落胆してドレスデンにたどりついたのだが、友人フィシェーニツヒに暖かく迎え入れられて元気を取り戻したのであった。それが1800年にはフライマウレルの思想に触発されて作詩した『歓喜に寄す』は若気の至りだったと、フィシェーニツヒは書くようになる。

シラーは1803年に没するが、1805年に発表された全集ではシラーの遺志どおり、『歓喜に寄す』は改変されたものになってしまう。そして、その改変されたままのものが第二次世界大戦後まで通用することになる。ベートーヴェンの心をとらえたのは、まだ汚れを知らない時代の、元のままのシラーの詩であった。『第九』で「歓喜のメロディー」と一つになるのは、この初期の革命的なエネルギーに満ちたシラーの詩であった。彼はそのことを1812年のスケッチ帳で明記している。続く

♪コンサート情報・行事情報

☆「国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブin横浜」

2009年4月17日(金)・18日(土) 横浜みなとみらいホール・大ホール 入場料500円

合唱団JOYさんが17日(午前11時頃)に出演。曲目は「海」がテーマの曲として「君と見た海」と、ロシアのオペラ、「エフゲニー・オネーギン」より「ラーリン家の舞踏会」の2曲です。その他、国内外60の合唱団が参加します。

☆松本茂晴「暮らしの器展」

2009年5月2日(土)～10日(日) 10:00～17:30 広瀬画廊にて(山田かまち美術館隣)入場無料

松本茂晴さんは元団員さんです。今も当合唱団を陰ながら支援してくれております。是非お伺いください！

☆オペラ「戦争と平和」トルストイ没後100年記念

2009年5月22日(金) 前橋テルサ 18:30開場 19:00開演 前売6000円(ペア10000円)

世界で活躍するアンドレイ・ブレウス:アンドレイ公爵役 タマーラ・サヴァーリナ:ナターシャ役 ピアノ:ユリヤ・レヴ

☆ランチタイムコンサート 合唱団JOY出演

2009年6月19日(金) 12:15～12:45 の30分間 高崎市庁舎 中2階ロビー

曲は横浜で歌う2曲のほか、定期演奏会で人気の曲を数曲。入場無料